



平成 30 年 5 月 1 日

報道機関 各位

東北大学災害科学国際研究所

「第 23 回 防災文化講演会」開催のご案内
テーマ：災害情報が危機回避行動と復興活動に
及ぼす影響

このたび、東北大学災害科学国際研究所は気仙沼市内にて、「災害情報が危機回避行動と復興活動に及ぼす影響」をテーマに、第 23 回防災文化講演会を下記のとおり開催いたします。

当研究所は、平成 25 年 7 月に「気仙沼市と国立大学法人東北大学災害科学国際研究所との連携と協力に関する協定」を締結するとともに、同年 10 月には気仙沼分室(通称:気仙沼サテライト)を気仙沼市内に設置し、防災・減災や復興の推進に連携して取り組んでまいりました。防災文化講演会はこのたび 23 回目となりますが、今回も、市民の皆様との情報交流の機会として開催いたします。

つきましては、ご多忙中と存じますが、本イベントについて広く周知いただくとともに、当日はご取材の上、紙面・番組等でご紹介くださいますよう、お願い申し上げます。なお、取材にあたっての事前申し込みはご不要です。

記

1. 日時：平成 30 年 5 月 19 日(土)13 時 00 分～16 時 00 分(開場:12 時 30 分)
2. 会場：気仙沼市魚市場 3 階会議室
3. 主催：東北大学災害科学国際研究所
共催：気仙沼市(申請中)
4. 趣旨：

東北大学災害科学国際研究所と気仙沼市のさらなる協力関係の強化と情報交流のため、本研究所が推進する防災・減災に関わる最新の調査・研究の成果に基づく災害科学情報を、気仙沼市や近隣にお住まいの方々ならびに関連する活動を実施されているの方々に向けて発信する。



5. 対象： 一般向け(参加申込 不要)

6. 次第：

話題提供(講演 40 分質疑応答 5 分)

- (1) 東日本大震災後、津波観測・警報システムの改善、残っている課題
東北大学災害科学国際研究所 准教授 サッパシー アナワット
- (2) 災害情報を伝える、地元メディアの役割(仮)
(株)ラヂオ気仙沼 代表取締役 昆野 龍紀氏
- (3) 災害時、人は何を思い、どう行動するのか
東北大学災害科学国際研究所 教授 邑本 俊亮
- (4) 災害に対する社会の見方の変遷
東北大学災害科学国際研究所 助教 瀧川 裕貴

【問い合わせ先】

東北大学災害科学国際研究所 気仙沼分室
(担当・熊谷成一)

Mail : skumagai@irides.tohoku.ac.jp

TEL: : 0226-23-7441